

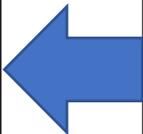
整った文章にしよう

名前)

どんなところが読みやすくなったでしょう。

下書き

私が座右の銘にしたい言葉は、「日々の積み重ねが自信をつくる」だ。これは、二〇二〇年十月二十四日のひかり新聞でのインタビュー記事の中で私が読んだ、体操選手の川野歩美さんの言葉だ。

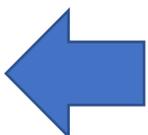


下清書

私が座右の銘にしたい言葉は、「日々の積み重ねが自信をつくる」だ。これは、体操選手の川野歩美さんの言葉である。二〇二〇年十月二十四日のひかり新聞でのインタビュー記事の中に、あった。



私がこの言葉を選んだのは、自分の自信のなさをどうにかしたいと思う。



私がこの言葉を選んだのは、自分の自信のなさをどうにかしたいからだ。



読みやすくするための推敲のポイント

- ①
- ②

(2) 高橋さんは、読み手に伝わりやすくするために、「報告する文章」の の文を二つの文に分けて書き直すことにしました。文と文をつなぐ言葉には「そこで」を使います。書き直した一文目の終わりの五文字と、二文目の「そこで」に続く五文字を書きましょう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

公衆電話を必要なきに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみることにしました。

。そこで、

大山さんは、春休みの出来事^{てきごと}について文章を書いたあと、読み返して、……部と——部とのつながりが合っていない文があることに気づきました。次の【春休みの出来事の一部】をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【春休みの出来事の一部】 文のはじめにある数字は、その文の番号を示しています。

① ぼくは、校庭で野球の練習を毎日がんばりました。その努力は見事に実りました。② ぼくたちのチームは、地区大会で優勝^{ゆうしょう}したのです。③ 今年の春休みは、とてもじゆう実したものとなりました。でも、反省していることもあります。④ 反省点は、用具の手入れをあまりしませんでした。これからは、練習だけではなく、用具の手入れもしっかりがんばりたいと思います。

（問い） ……部と——部とのつながりが合っていない文の番号を、①から④までの中から一つ選んで書きましょう。また、……部はそのままにして、文の意味が変わらないように、選んだ文を正しく書き直しましょう。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

選んだ文の番号……

書き直した一文